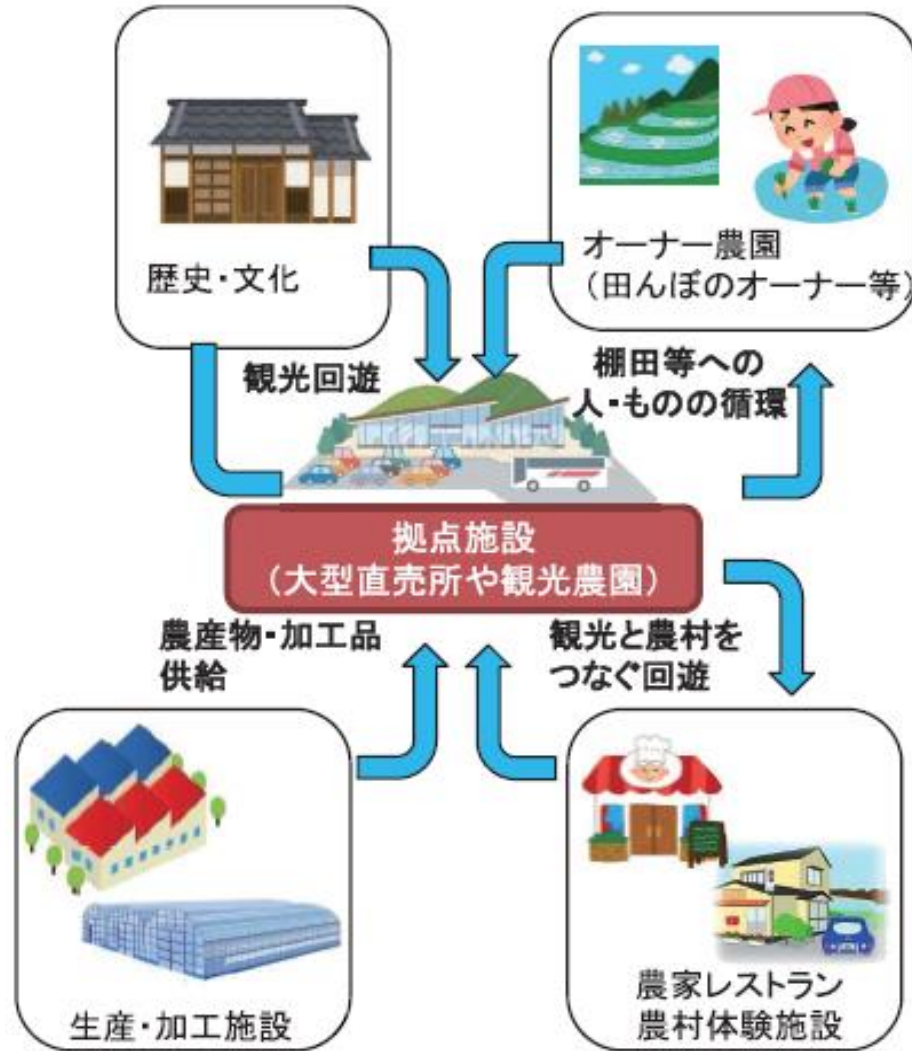


農遊促進事業について

農遊促進事業



事業内容

北陸新幹線の福井・敦賀開業や、中部縦貫自動車開通をきっかけに、**福井県を訪れる旅行者に県内の農村にも足を運んでもらい、**農村での交流人口の増加と農家所得の向上につなげるため、大型直売所（道の駅）などを拠点として、観光農園・農家レストラン・農家民宿等の農村を体感するコンテンツをつなげ、旅行者が**農村を遊んで&回遊する「農遊地域」**づくりを行う。

具体的な事業内容

事業内容	事業主体	補助率
①農遊コンシェルジュの育成 農産物直売所等のスタッフを、旅行者へ農村の情報を魅力的に伝えられる農遊コンシェルジュに育成	県	—
②農遊スタンプラリーの実施 観光地から直売所等へ観光客の誘導を図るため、モバイルスタンプラリーを実施	県	—
③イベント実施や新商品の開発を支援 大学生や農遊コンシェルジュが中心となり、農遊の目玉となるようなイベントの実施や新商品開発を支援（ソフト支援）	直売所等	1/3

農遊コンシェルジュ

定義

農村に立ち寄った旅行者に対し、
農村の**食文化**、**特産農産物**の歴史や特徴、各地域の**施設の情報**等を
魅力的に伝えられる人材

役割

- ▶お客さまからの食文化や地域特産物に関する**質問に正しく答える**
- ▶旅行者に地域の農遊施設を**紹介・案内する**

育成研修

- ▶県内6地区で研修会（講座5～7回程度の予定）実施
- ▶一定単位以上出席で、農遊コンシェルジュに認定



農遊コンシェルジュの役割

5

- × セールスマンのように自分から積極的にお客さまに話しかける
- お客さまから下記のような質問があった時に正しく答えられる

(例)

「このあたりでおすすめの立ち寄りスポットは？」

「今の時期は何の果物が旬なの？」

「この品種とこっちの品種は何が違うの？」

「この特産物が食べられるお店は近くにある？」

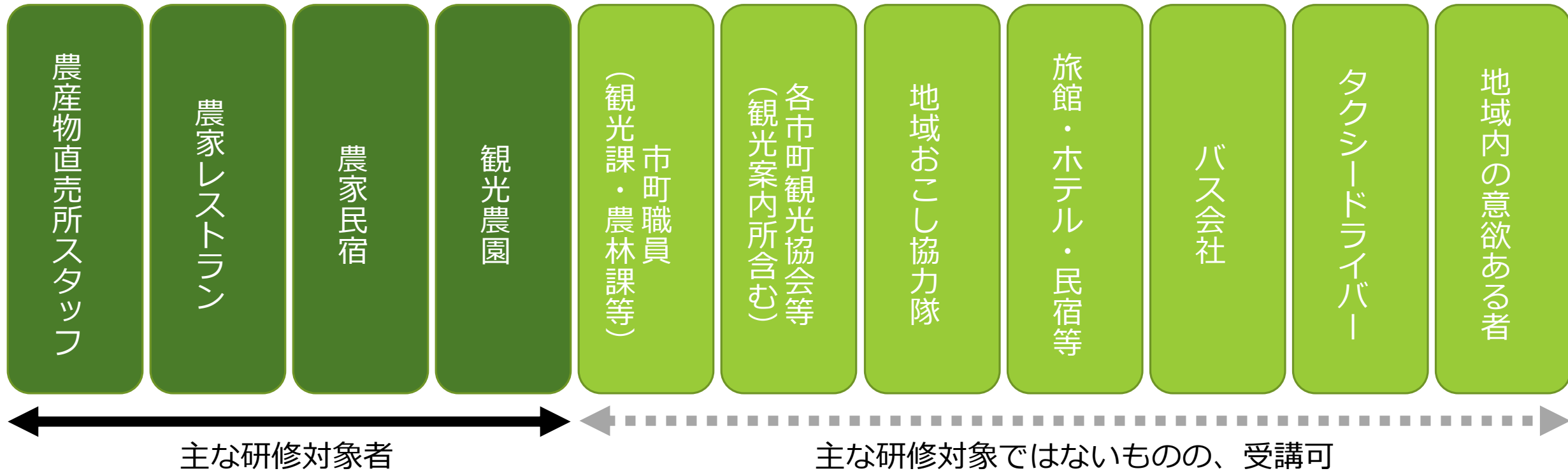
「ゆっくり農村の景色を眺められるようなところはある？」

「この料理に使われている食材はこの地域の特産なの？どこかで買える？」

「この地域ならではの食べ物が食べたいんだけど、どこに行けばいい？」

想定される認定者

6



旅行者から地域のことを尋ねられる可能性がある人は幅広く参加可能

目指す姿

地域で面的に旅行者を受入れ・回遊を促す



直売所(道の駅含む)



今の時期だと、梨が旬を迎えておいしいですよ！



週末にイベントがあるから、行ってみようよ！

家族でぶどう狩りだ！

帰りに直売所に行くと旬の野菜や果物も買えますよ！

地域特産フルーツを使ったスイーツを召し上がれ！

近くの農家民宿でカフェをやってるから、帰りに寄っていくといいよ～！

この料理は全国でも福井にしかないんですよ

近くの農家レストランで地元の伝統料理が食べれるからランチに寄ってみてよ！



農家民宿



農村体験イベント



農家レストラン



観光農園

認定要件

下記の要件をすべて満たす方を農遊コンシェルジュとして認定します。

(1) 育成講座への出席

- ①共通講座・・・・・・・・全講座を受講すること
- ②グループワーク・・・・・・・・全体の60%以上受講すること
- ③現地視察・・・・・・・・全体の60%以上受講すること
- ④地域別講座・・・・・・・・全体の60%以上受講すること

(2) 活動意欲

- ・旅行者に福井県の農村の魅力を伝えることに対し、意欲的であること